


ピットタッチ・ミニ

ピットタッチ・ミニ
タッチログ機能解説書
Ver1.00

株式会社ビー・ユー・ジー

目次

1	この文書の目的	3
2	概要	4
3	通信設定	5
4	設定ケーブルについて	6
5	接続方法	7
5.1	事前準備	7
5.2	パソコンとの接続	8
6	タッチログの設定	9
6.1	設定ツールでタッチログ機能を ON とする	9
6.2	パソコンからコマンドを実行しタッチログ機能を ON とする	9
7	タッチログ情報	12
	注意事項・免責事項	13

1 この文書の目的

本書はピットタッチ・ミニからピットタッチ・ミニ設定ケーブルで接続したパソコンへタッチした情報を通知する機能(タッチログ)に関するドキュメントです。

前提としてシリアル通信の知識がある方を対象としています。

FeliCaに関する質問、サポートは一切致しかねますので、ご了承ください。

■商標などについて

「ピットタッチ」「ピットタッチ・ミニ」は、株式会社ビー・ユー・ジーの登録商標です。

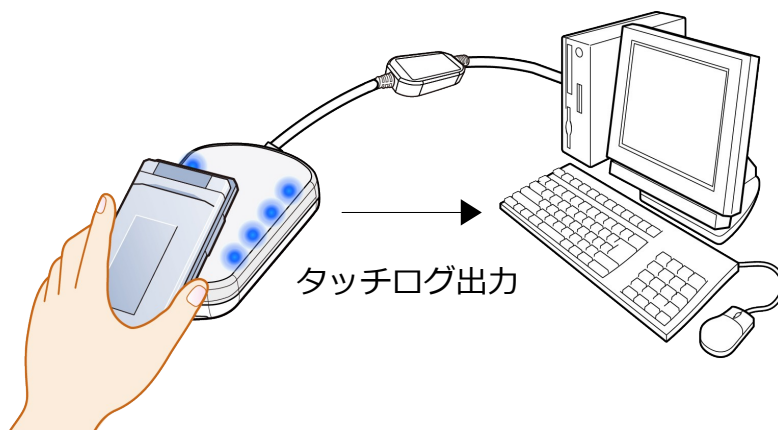
「FeliCa」はソニー株式会社が開発した非接触ICカード技術方式です。

「FeliCa」はソニー株式会社の登録商標です。

その他の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

2 概要

ピットタッチ・ミニ(以下、「本機」)からピットタッチ・ミニ設定ケーブル(以下、「設定ケーブル」)を通じて、パソコンへタッチした情報を通知します。これをタッチログ機能といいます。これによりパソコンはタッチされた FeliCa ID などの情報を把握することができます。



3 通信設定

本機は外部接続コネクタと設定ケーブルを通じて ASCII キャラクタ(文字列)による情報通知を行います。

パソコン側で利用する COM ポート設定を以下の様にしてください。

フロー制御		なし
通信速度		115,200bps
キャラクタ形式	スタートビット	1ビット
	データビット	8ビット
	パリティビット	なし
	ストップビット	1ビット

4 設定ケーブルについて

タッチログ機能を利用するには、ピットタッチ・ミニ設定ケーブルが必要です。ケーブルの入手方法についてはピットタッチ・ミニをご購入頂いた販売元にお問い合わせください。

設定ケーブルのドライバは弊社ホームページからダウンロードできます。

ドライバのインストール方法については、ドライバに付属のドキュメントを参照してください。

5 接続方法

5.1 事前準備

1. 設定ケーブルを用意します([設定ケーブルについて](#))。

設定ケーブルのドライバをインストールするまで、設定ケーブルをパソコンに接続しないでください。



必ず専用の設定ケーブルをお使いください。別のケーブルを使用すると、故障の原因になります。

2. 必要に応じて、パソコンに設定ケーブルのドライバをインストールします。

ドライバは弊社ホームページからダウンロードできます。

ドライバのインストール方法については、ドライバに付属のドキュメントを参照してください。

3. 本機のタッチログ機能を ON にします。タッチログ機能を設定する方法は 2 通りあります。

- [設定ツールでタッチログ機能をONとする](#)
- [パソコンからコマンドを実行しタッチログ機能をONとする](#)

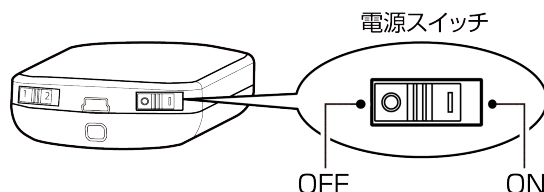
4. 本機を常時起動モードに設定します。

タッチログ機能を利用するには、本機を常時起動モードとする必要があります。以下のいずれかの方法で設定してください。

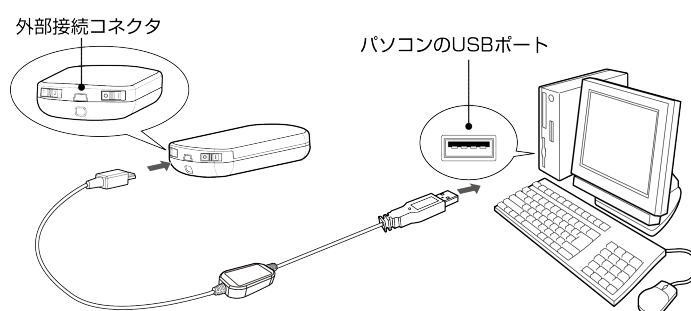
- 本機のDIPスイッチを用いて常時起動モードに設定する
→詳細は本機の取扱説明書「2 各部の名称とはたらき」の「DIPスイッチについて」をご確認ください。
- ピットタッチ・ミニ スリム共通設定ツール(以下「設定ツール」)を用い、動作モードの設定を行う
→ピットタッチ・ミニ スリム共通設定解説書「第3章 3-3-3 本体設定タブ」をご確認ください。

5.2 パソコンとの接続

1. 本機の電源スイッチを OFF にします。



2. 下図を参照して、コネクタ(大)をパソコンのUSBポートに接続します。コネクタ(小)を本機の外部接続コネクタに接続します。



3. パソコンのCOMポート設定を行います([通信設定](#))。
4. 本機の電源スイッチを ON にします。
しばらくすると、起動音「ピポ」が鳴り、本機が起動します。
※DIPスイッチの状態によっては音が鳴りません。
5. 本機のタッチログ機能が ON に設定されていない場合、COMポートを通じて、コマンドにて本機のタッチログ機能を ON とします([パソコンからコマンドを実行しタッチログ機能を ON とする](#))。
※設定ツールにて「タッチログを出力する」としている場合は必要ありません([設定ツールでタッチログ機能を ON とする](#))。
6. おサイフケータイをタッチし、タッチログが通知されることを確認します。
※タッチログ機能を ON にしないと、タッチログは出力されません。
※エコモードではタッチログ機能が正常に動作しません。必ず常時起動モードにてご利用ください([事前準備](#))。
※瞬間停電が発生した場合、タッチログが出力されないことがあります。

6 タッチログの設定

タッチログ機能を利用するためには、タッチログ機能を ON とする必要があります。以下の 2 つの方法があります。

6.1 設定ツールでタッチログ機能を ON とする

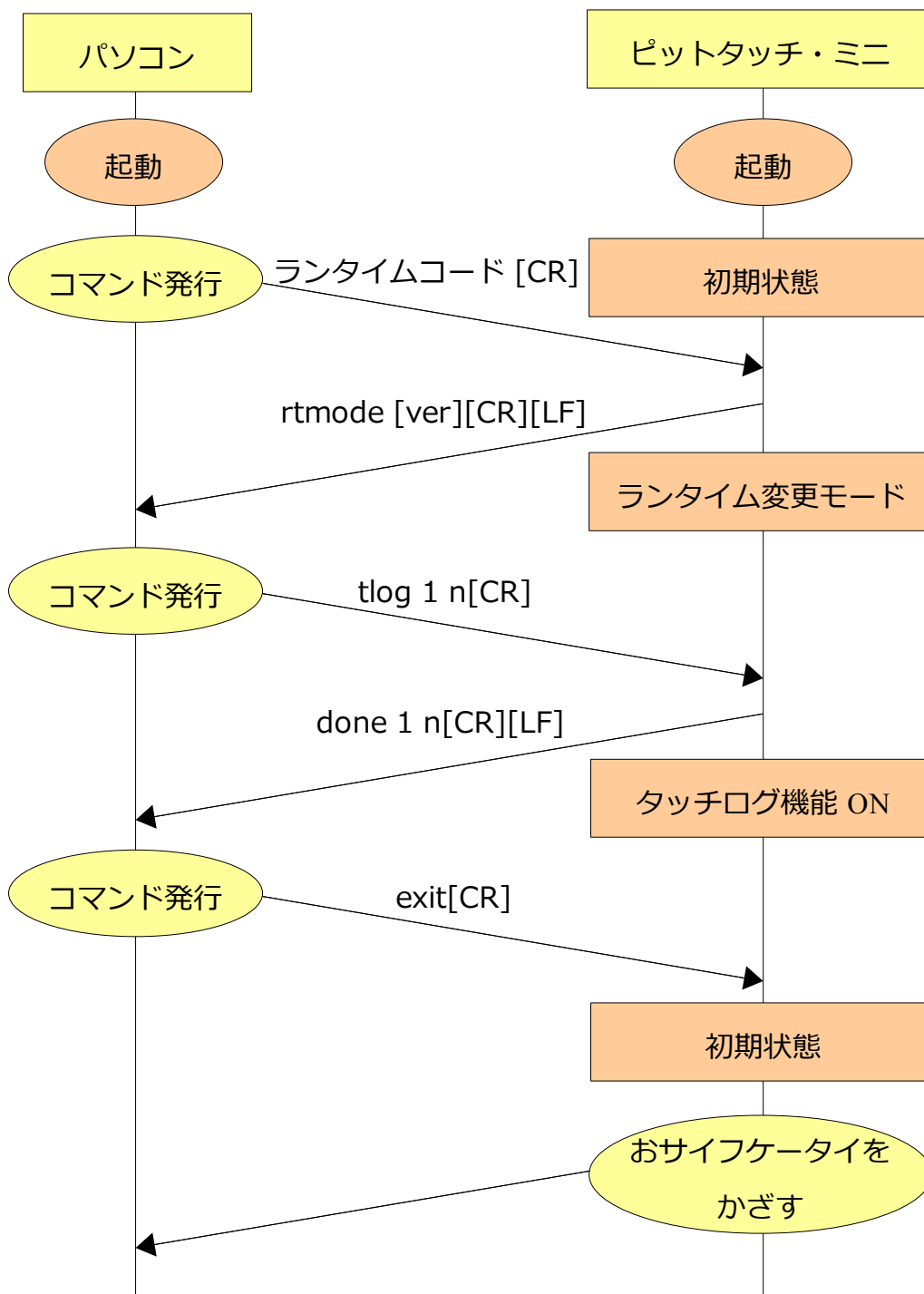
あらかじめ設定ツール用い、タッチログ機能を有効にしておくことができます。詳細はピットタッチ・ミニ スリム共通設定解説書「第 3 章 3-3-3 本体設定タブ」をご確認ください。

「タッチログを出力する」と設定すると、本機は起動直後からタッチログを出力可能となります。パソコンからコマンドを実行する必要はありません。

6.2 パソコンからコマンドを実行しタッチログ機能を ON とする

設定ツールを用いずにタッチログ機能を ON とするには、本機が起動するたびにパソコンからコマンドを実行する必要があります。タッチログ機能を ON とするための方法については、以下のシーケンスとコマンドを参照してください。

なお、コマンドで指示したタッチログ機能は本機の電源を OFF にするまでの間、有効です。電源を再投入するとタッチログ機能は無効となりますので、再度コマンドを実行してタッチログ機能を ON としてください。



MEMO

パソコンから本機へコマンドを送信する際は、必ずコマンド末尾が[CR](キャリッジリターン、0x0D)となるようにしてください。ターミナルソフトの設定によっては[CR]→[CR][LF]と変換されることがあります。ご注意ください。

■ランタイムコードコマンド

フォーマット		ランタイムコード[CR] ランタイムコードについては弊社までお問い合わせください
意味		本機をランタイム変更モードに移行します
戻り値	成功	rtmode [ver][CR][LF] [ver] ... ファームウェアバージョン、最大 15 文字 ASCII、ex. 1.01
	失敗	成功応答が返らず、無反応または別メッセージ("command not found"など)を表示

■タッチログ機能コマンド

フォーマット		tlog [val] n[CR]
意味		タッチログ機能を ON・OFF します コマンド最後の「n」は固定文字です
[val]		タッチログ機能の ON・OFF を表します <ul style="list-style-type: none"> • 0 ... タッチログ機能OFF • 1 ... タッチログ機能ON
戻り値	成功	done [val][CR][LF] [val] ... コマンドで指定したものと同じ値が返ります
	失敗	error [err][CR][LF] [err] ... エラーコード <ul style="list-style-type: none"> • -115 ... コマンド引数不正 • -200 ... その他エラー

■ランタイム変更モード終了コマンド

フォーマット		exit[CR]
意味		ランタイム変更モードを終了し、初期状態にします
戻り値	成功	なし

※各記号の意味は以下の通りです。

- [CR] ... キャリッジリターン、0x0D
- [LF] ... ラインフィード、0x0A

7 タッチログ情報

本機が出力するタッチログは以下のようになります。

フォーマット	[err],[ver],[tid],[idm],[tcnt],[sum][CR][LF] 45文字固定([CR][LF]を除く)
[err]	エラーコード、2文字固定、16進数大文字 • 00 ... 機能実行成功 • 01 ... 非Mobile FeliCa検出 • 02 ... 機能実行失敗(PUSH応答受信失敗) • 03 ... 機能実行失敗(ACT2応答受信失敗) • FF ... 内部エラー
[ver]	タッチログバージョン、2文字固定「m1」
[tid]	端末ID、8文字固定、ASCII
[idm]	FeliCa ID、16文字固定、16進数大文字
[tcnt]	累積タッチカウンタ、10文字固定、10進数字
[sum]	タッチログチェックサム、2文字固定、16進数大文字 ASCII ログ先頭から[sum]直前の「,」までを含むキャラクタ総和の2の補数

- 上記タッチログが出力されるタイミングは、おサイフケータイをかざした後、3者間通信コマンド発行後となります。
- おサイフケータイ以外をかざした場合、直ちにタッチログが出力されます。
- 本機の外部変更機能(ランタイムパラメータ変更機能)と併用できますが、変更のタイミングとタッチログのタイミングをパソコンで考慮する必要があります。

注意事項・免責事項

- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製、改変などをすることは、固くお断りします。
- 本書に記載された仕様、その他の内容については、予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載された事項を元にお客様が作成したプログラム・仕様書などについて発生した、いかなる損害も当社は一切の責任を負いません。

2010/09/01